

令和5年度第2回光市行政改革市民会議【要旨】

開催日時 令和6年3月22日（金）
13時30分～15時00分
開催場所 市役所本庁大会議室1、2号

1 政策企画部長あいさつ

皆様改めましてこんにちは。

大変お忙しい中、本会議にご出席いただき、誠にありがとうございます。

令和5年7月28日に開催した第1回目の市民会議にて行財政構造改革推進プラン及び公共施設マネジメントに係る方針や課題点等について説明させていただきました。本日はこのプランに掲げている取組や公共施設マネジメントの進捗状況について報告させていただきたいと思います。

詳細な内容は後程、係員より説明いたしますが、行財政構造改革については、光市が掲げている目指すべきビジョンである「ゆたかな社会」を実現するため、戦略的で長期的な行政経営の視点による取組や、前例や既存の概念にとらわれない柔軟な発想による行財政改革の取組など、時代の変化に対して果敢に挑戦する姿勢が重要であると考えています。

また、今年の1月1日に発生しました能登半島地震により、改めて災害時における公共施設が果たす役割の重要性を認識したところでございます。公共施設マネジメントは、限られたリソースの最適利用、コスト軽減、機能の合理化などにより災害対応力向上に寄与し、地域全体の安全性を確保する基盤を築くことにも繋がるものだと考えられます。

これらの取組が行政の自己満足とならないよう、市民の皆様の視点から真に行政に求められているものが何か、しっかりと把握することが重要であるかと思えます。

こうしたことから、本日、市の取組に対して皆様からご意見をいただくことで、課題の早期発見や、ニーズを把握させていただき、次の取組に繋げていきたいと考えております。皆様からは、ご忌憚のないご意見をいただきますようお願いして、簡単ではございますが、開会のご挨拶とさせていただきます。

2 議題

(1) 令和6年度の行財政構造改革推進プランの取組について

令和6年度の行財政構造改革推進プランの取組について、事務局が説明した後、各委員からご意見、ご提言を受けるとともに、意見交換を行いました。

【委員意見及び事務局回答要旨】

委員

公開型GIS導入について予算計上されていますが、導入に伴い金額的なメリットはあるのでしょうか。また光市民にとってどういったメリットがあるのでしょうか。

事務局

国から交付金が出るため予算の半分は実質的に国が負担することとなります。

金額的なメリットとしては、都市計画図は古くなれば紙ベースで印刷する必要があり費用がかかっていましたが、印刷が不要となるため印刷コストを抑えることができます。

また市民の方にとってのメリットですが、GISの公開により航空写真の地図情報に道路情報、下水道情報、都市計画情報、公共施設の状況等を掲載する予定としており、今までホームページや窓口で確認が必要な情報が閲覧できることが考えられます。

委員

情報はリアルタイムで更新されるのでしょうか。

事務局

更新のタイミングについては、各施設の情報については職員で随時更新可能になるかと思われませんが、航空写真の情報についてはリアルタイムでの更新にはならないものと思われます。

委員

地図情報にはハザードマップも含まれるのでしょうか。

事務局

市のハザードマップについては掲載する方向性で検討しています。県のハザードマップについては県との調整が必要となり、所管課にも確認が必要となるため、現時点ではお答えいたしかねます。

委員

このプランは人口減少、対策を踏まえた上での内容となるのでしょうか。

事務局

プランを作成した経緯ではありますが、委員がおっしゃるとおり人口減少を踏まえた上で、単にサービスを低下させるのではなく、規模が縮小しても質を充実させる「縮充」を進めていくためにプランを作成し、取り組みを進めています。

委員

光市に定住しやすいよう、他の自治体にはない、光市ならではの魅力を肌で感じられる取組を進めていく必要があるのではないかと考えます。例えば子育て支援であれば、明石市では0歳児のおむつを毎月提供する等の取組を進めています。公共の遊び場を提供する等、子育てがしやすい環境づくりを進め、光市の良さを感じる事業を進めていくと良いのではないかと思います。

事務局

子育て支援の事例として明石市を挙げていただきましたが、光市では、乳幼児・子ども医療費助成事業ということで18歳までの医療費の助成、新生児の聴覚検査や産後ケア事業の無償化を行う予定としています。また、公共交通については路線バス本数が減少することから高校通学時タクシー運賃助成実証実験を行う等の取組を進めることとしています。おっしゃる通り、まだまだ不足している内容もあるかと思しますので、令和7年度の予算に向け、委員の皆様から引き続きご意見をいただければと思います。

委員

これからの光市を担い、成長させていく世代を増やしていく必要があると思います。他の自治体にはない、おっばい都市宣言も掲げているので、市民が定住し、子育てしやすいような環境づくりをしていただければと思います。

事務局

光市の取組内容が伝わりやすいような手法についても検討してまいりたいと思います。

(2) 光市の公共施設マネジメントについて

光市の公共施設マネジメントについて事務局が説明した後、各委員からご意見、ご提言を受けるとともに、意見交換を行いました。

【委員意見及び事務局回答要旨】

委員

資料に廃止と記載がありますが、これは事業を廃止しただけなのではないでしょうか、それとも施設を解体をしているのでしょうか。

事務局

大和支所、大和コミュニティセンターのように建て替えたもの、防災指令拠点施設のように新規で建設したもの等もありますが、資料に廃止と記載があるものの多くは解体しているものとなります。

委員

売却をしているものはありますか。

事務局

西部在宅介護支援センター、しまた在宅介護支援センターについては建物ごと売却しています。また、つるみ幼稚園、さつき幼稚園については土地を売却しています。基本的には解体した後の土地については積極的に売却を進める方針です。

委員

旧光市立総合病院を解体後、跡地の売却は条件付きで行う予定でしょうか。

事務局

当該施設の解体工事は令和7年度中に完了する予定であったかと思いますが。解体後については、議会等で基本的に売却の方針であると聞いておりますが、詳細な条件等については把握しておりません。

委員

せつかくなので、市のにぎわいに繋がる売却となればと思います。

委員

旧光市立総合病院跡地についてですが、駅から近く、学生も立ち寄りやすく、人通りが多いことから防犯上安心ということもあるため、図書館を移転すると利用者が増加するのではないかと思います。

事務局

まちづくりを進めていく上で、跡地の利活用については、光市としても検討していく必要があるかと思っておりますので、ご意見があった内容については所管に伝えてまいります。

3 その他

委員の方から、行財政改革の取組全体に対して等のご意見等をいただきました。

【委員意見及び事務局回答要旨】

委員

大和地域では、自転車がパンクしても修理する場所がありませんし、文房具を購入する場所も限られており、車で移動しないと買い物が困難な状況にあります。例えば里の厨等の一面にそういった施設を用意する等の支援していただけるとありがたいと思います。

事務局

買い物のしやすさやサービスの受けやすさについて、今後の施策に展開していかなければならないかと思っておりますので、所管に伝えてまいります。

委員

虹ヶ浜、室積海岸に障害者の車いすが利用可能となる遊歩道を作ってはいかがでしょうか。海水浴場環境整備事業に盛り込むことはできないのでしょうか。

事務局

こちらの事業の概要を説明いたしますと、チャレンジショップを開設することでいざわい創出につなげることを目的としているものとなります。今のご提案についてですが、虹ヶ浜等は保安林になっていたかと思っておりますので、まずは加工が可能であるかどうかという確認も必要となりますが、ご意見があったことについては所管に伝えてまいります。

委員

光市で育ち、光市に定住していただくことが重要であり、そのためには交通アクセスは欠かせないものと考えます。市外からのアクセスにおいて駅は重要なのですが、光駅にはエレベーターが無いので、別の駅で待ち合わせするということもありました。ベビーカーを使用する方も苦勞をしている姿も見受けられますので、整備が必要ではないかと思えます。

事務局

光駅については、所管とJRが協議を進める中で、そういった方向性についても決めていければと思っています。

委員

公務員試験ですが、先行枠ということで3月に実施している自治体があります。良い人材の確保のため様々な対策が必要ではないでしょうか。

事務局

光市においてもSPI試験の導入等、近年、様々な手法を導入しています。時期の前倒し等のご意見については採用を行う所管に伝えてまいります。

委員

市内の中小企業は、若い方にも積極的に就職していただきたいと考えているのではないかと思います。奨学金支援制度があれば就職したい等、考える方もいらっしゃるかと思いますので、そういった支援進めている企業に対して市が援助する、といった制度があると良いのではないのでしょうか。

事務局

中小企業等に対する支援事業についてですが、光市では「光に住んで、働こうやー！」支援事業ということで、インターンを受けた企業や、就職に関する広告を出す企業に対して助成等を行っています。こういった事業を進めながら企業からのご意見等を参考にしつつ、必要となる施策を検討してまいりたいと考えます。

委員

光市は大きな産婦人科病院が2つあり、子育てしやすく自慢のできる自治体であると感じていますが、最近虹ヶ浜海岸等に来る人も少なく、驚くことがあります。光駅が整備されたり、子育てに関するまちのコミュニティが出来たり、光市立総合病院跡地に何かできれば良いなと思います。また子ども達に目を向けた取組も進めていただければ素敵だと思います。

事務局

人数が少ない状況に対して、どのようにしてにぎわいを創造していくのか、対策については検討を進めているところでございます。何かご意見がありましたら所管には伝えてまいりたいと思いますので、引き続きよろしく申し上げます。

委員

小中一貫ひかり学園推進事業に係る予算についてです。施設一体型小中一貫やまと学園の基本設計ということで、大和中学校があった場所への校舎建設に係る設計費用という認識でよろしいでしょうか。

事務局

おっしゃるとおり、やまと学園を現大和中学校の土地に建設するための設計費用となります。また少し敷地が狭いため用地を拡張するための費用、令和7年度に開校される大和小学校へのスクールバス導入費用も含まれています。

委員

今後、児童数が減少する可能性があり、財政が苦しい状況の中、小中一貫ひかり学園推進事業を進め、校舎の建築等で非常に多くの費用がかかることは大丈夫なのでしょうか。

事務局

教育委員会より方針をお示しさせていただいておりますが、20年という長い期間により事業を進めていく中で、人口減少、児童数の減少等の状況により、計画の見直し、区分けについて改めて議論になる可能性もあります。しかしながら、現時点での見通しでは、方針のとおり進めていくこととなっております。